

その人らしい暮らしを、いちばん近くで支えたい

訪問看護という働き方

社会医療法人大道会 訪問看護ステーションおおみち 管理者／看護師

川本 麻衣さん

ご自宅という

“生活の場”に合わせたケアを届けています

利用者様のご自宅に伺い、主治医の指示に基づいた看護を行っています。状態観察、保清^{※1}や排泄ケア、医療的ケア^{※2}、ターミナルケア^{※3}、ご家族への支援など、提供するケアは幅広く、対象も赤ちゃんから高齢者まで本当にさまざまです。さらに、地域の健康相談や集いの場づくり、ケアマネジャーさん向けの勉強会、お祭りの救護、パーキンソン病の方々の交流会など、地域に根ざした活動にも取り組んでいます。“生活を支える看護”を、地域の中で実感できる仕事です。

実習で出会った

“寄り添う看護”が忘れられず

この道を選んだ原点は、学生時代の実習で出会った光景でした。利用者様やご家族に寄り添う姿が強く印象に残り、「いつか自分もこんな風に関わりたい」と思ったのがすべての始まりです。

新卒で病院に勤務していた頃は、退院していく患者様を見送るたびに「このまま本当に大丈夫だろうか」「その後の生活が気になる」と思うことが増えていきました。“生活の場に戻ったあとも支えたい”という思いが大きくなり、今の働き方を選びました。

在宅だからこそ生まれた、 家族との大切な時間

忘れられないのは、在宅で看取らせていただいた利用者様のことです。おじいちゃん子だった中学生のお孫さんに声をかけ、一緒にエンゼルケア^{※4}を行いました。「こんなことができるなんて思わなかった。うれしかった」と話してくださった時、胸が熱くなりました。後日いただいたお手紙には、「いつも笑顔でおじいちゃんをささえてくれてありがとう」と書かれており、今も私の大切な励みになっています。

“その人らしさ”が見える場所で、 これからも

ご自宅には写真や趣味のもの、その人の歴史がたくさん詰まっています。病院とは異なり、“その人らしさ”が自然と浮かび上がる環境だからこそ、関わるたびに「この仕事を選んで良かった」と実感します。

今後も、その人が築いてきた暮らしや生き方を大切にしながら関わり続けていきたい。そして管理者としては、地域から信頼され、スタッフが笑顔で働き続けられる事業所づくりを進めていきたいと思っています。

※1 看護・介護現場において、入浴、清拭(身体を拭く)、洗髪などを通じて、身体の汚れを取り除き、清潔な状態を維持するケア。

※2 在宅や学校で人工呼吸器、痰吸引などの医療機器やケアを日常的に必要とする方に対し、家族や研修を受けた介護職員らが生活援助として行うケア。

※3 延命治療ではなく、身体的な痛みや精神的な不安を取り除き、最期までその人らしく穏やかに過ごせるようにサポートする医療・介護ケア。

※4 亡くなった方の尊厳を守り、生前に近い穏やかな姿に整えるケア全般。